

平成27年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年10月9日

上場会社名 株式会社さいか屋 上場取引所 東  
 コード番号 8254 URL http://www.saikaya.co.jp/  
 代表者 (役職名) 取締役社長兼社長執行役員 (氏名) 岡本 洋三  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 古性 武志 (TEL) 044 (211) 3157  
 四半期報告書提出予定日 平成26年10月9日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年2月期第2四半期の連結業績(平成26年3月1日～平成26年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期第2四半期	17,652	△5.8	198	△43.7	69	△68.8	67	△66.7
26年2月期第2四半期	18,743	△4.6	351	△31.9	223	△41.5	202	△51.1

(注) 包括利益 27年2月期第2四半期 80百万円(△61.0%) 26年2月期第2四半期 207百万円(△51.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年2月期第2四半期	2.16	1.62
26年2月期第2四半期	6.47	4.74

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年2月期第2四半期	23,251	3,411	14.7
26年2月期	22,724	3,330	14.7

(参考) 自己資本 27年2月期第2四半期 3,411百万円 26年2月期 3,330百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年2月期	—	—	—	0.00	0.00
27年2月期	—	—	—	—	—
27年2月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年2月期の連結業績予想(平成26年3月1日～平成27年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	36,000	△4.5	450	△0.2	170	△14.7	4,720	—	151.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) 、 除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年2月期2Q	31,353,142株	26年2月期	31,353,142株
27年2月期2Q	134,854株	26年2月期	132,746株
27年2月期2Q	31,219,127株	26年2月期2Q	31,223,621株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は平成26年10月9日付で終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「連結業績予想に関する定性的情報」をごらんください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	10
4. 補足情報	12
(1) 連結売上高の内訳	12
(2) 店別売上高(単体)	12
(3) 商品別売上高(単体)	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成26年3月1日～平成26年8月31日)におけるわが国経済は、政府の経済政策や日銀の金融緩和の効果により企業収益の改善が図られ、輸出は横ばいとなっているものの、設備投資は増加傾向にあります。また、個人消費については、4月の消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動があり、一部に弱さが残るものの持ち直しの動きがみられ、雇用情勢は着実に改善するなど、景気は緩やかな回復基調が続いています。しかしながら、駆け込み需要の反動の長期化や海外景気の下振れなど、景気を下押しするリスクもあり、先行きについては予断を許さない状況となっています。

百貨店業界におきましては、3月の売上高は消費税率引き上げ前の駆け込み需要により前年対比で大幅に増加いたしました。その反動により4月以降の売上高は前年対比で減少が続きました。その後、次第に影響は和らぎ、多くの地区で減少幅は縮小してきており、8月については前年同月比-0.3%となるまでに回復、東京・大阪などの大都市は5ヶ月ぶりにプラスとなり、地方も7月と比べて改善するなど回復テンポを高めています。

このような状況の下、当社は今年度を「強固な企業体質を構築する年度」と位置づけ、2年目を迎える中期経営計画の数値目標を現在の営業状況を考慮した数値目標に修正するとともに、新たに策定した重要戦略である「売上高増加のための売場改善」、「収益力強化」、「外商機能の強化」の実行に取り組んでまいりました。

当第2四半期連結累計期間におきましては、3月は消費税率引き上げ前の駆け込み需要により、美術・宝飾品などの高額品、寝具・家電などの家庭用品が好調に推移し、大幅に売上高を伸ばし好調なスタートとなりました。4月以降は駆け込み需要の反動や、7月、8月の天候不順による影響で売上高は前年対比で減少が続きましたが、営業施策の積極的な展開や経費削減に努めたことにより、期初の予想とほぼ同水準の売上高、営業利益を確保することができました。

当第2四半期連結累計期間において実施した今年度の重要戦略に基づく施策といたしましては、前期に引き続き、利益率向上のため各店において自主編集売場で販売する商品の取扱いを増やすとともに、手数料収入の増加を図るため、外部との提携により外商担当者が取扱う商品・サービスを更に拡充いたしました。また、5月から開始した通信販売など、株式会社エーエフシーとの提携による健康食品の販売施策が一定の成果を挙げたほか、催事の見直しにも取り組み、6月に3店舗共同で開催した新規催事である「大黄金展」が大きな成功を収めました。

一方、ローコストオペレーションを更に推進するため、引き続き、店舗の維持管理費用などの物件費や広告宣伝費削減を中心とした経費削減に取り組むとともに、経営資源の集中を図るため、8月に非連結子会社である(株)エフ・アンド・エス・ツールの全株式を売却し、グループの体質強化を図りました。

以上のような諸施策を積極的に展開したものの、当第2四半期連結累計期間の連結業績は前年同期比減収減益となり、売上高は17,652百万円(前年同期比94.2%)、営業利益は198百万円(前年同期比56.3%)、経常利益は69百万円(前年同期比31.2%)、四半期純利益は67百万円(前年同期比33.3%)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の財政状態は、総資産については23,251百万円となり、前連結会計年度末に比べ527百万円増加しました。これは主に、第2四半期連結会計期間末が銀行休業日にあたることによる現金及び預金の増加およびリース資産の増加等によるものです。負債については、前連結会計年度末に比べて446百万円増加し19,840百万円となりました。これは主に、第2四半期連結会計期間末が銀行休業日にあたることによる買掛金および未払費用の増加、ならびにリース債務の増加等によるものです。純資産については、前連結会計年度末に比べて80百万円増加し3,411百万円となりました。

#### (キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ268百万円増加し1,644百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、945百万円の収入(前年同期比161百万円の収入の減少)となりました。主な増加項目は、減価償却費520百万円および仕入債務の増加額389百万円等であり、主な減少項目は、売上債権の増加額135百万円等によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、245百万円の支出(前年同期比194百万円の支出の増加)となりました。主な増加項目は、定期預金の払戻による収入70百万円等であり、主な減少項目は、有形固定資産の取得による支出

121百万円および長期前払費用の取得による支出93百万円、ならびに差入保証金の差入による支出81百万円等によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、430百万円の支出（前年同期比185百万円の支出の減少）となりました。主な減少項目は、長期借入金の返済による支出371百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績等に基づき検討した結果、平成26年9月26日に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,446,123	1,744,784
売掛金	674,645	810,524
商品	1,410,707	1,451,801
貯蔵品	49,516	47,382
その他	244,226	252,648
流動資産合計	3,825,218	4,307,141
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,513,250	8,190,586
土地	7,363,709	7,363,709
リース資産(純額)	34,046	374,818
その他(純額)	27,519	26,230
有形固定資産合計	15,938,525	15,955,345
無形固定資産		
その他	93,818	116,269
無形固定資産合計	93,818	116,269
投資その他の資産		
投資有価証券	347,893	359,350
敷金及び保証金	2,043,639	2,121,151
破産更生債権等	21,885	19,468
その他	473,058	390,310
貸倒引当金	△19,650	△17,230
投資その他の資産合計	2,866,827	2,873,050
固定資産合計	18,899,172	18,944,665
資産合計	22,724,390	23,251,807
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形	51,400	37,324
買掛金	2,435,178	2,838,401
短期借入金	48,000	36,000
1年内返済予定の長期借入金	744,710	384,010
未払法人税等	22,226	17,066
商品券	1,229,587	1,206,500
賞与引当金	11,266	19,007
商品券回収損引当金	638,049	629,347
ポイント引当金	173,422	177,749
その他	887,077	1,043,019
流動負債合計	6,240,917	6,388,425
固定負債		
長期借入金	11,744,127	11,733,557
繰延税金負債	224,444	223,199
退職給付引当金	408,217	417,255
資産除去債務	228,681	230,503
その他	547,164	847,326
固定負債合計	13,152,635	13,451,841
負債合計	19,393,552	19,840,266

純資産の部			
株主資本			
資本金	1,945,290		1,945,290
資本剰余金	1,637,078		1,637,078
利益剰余金	△232,401		△165,122
自己株式	△41,766		△41,898
株主資本合計	3,308,201		3,375,348
その他の包括利益累計額			
その他有価証券評価差額金	22,636		36,191
その他の包括利益累計額合計	22,636		36,191
純資産合計	3,330,837		3,411,540
負債純資産合計	22,724,390		23,251,807



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
売上高	18,743,865	17,652,693
売上原価	14,577,681	13,757,467
売上総利益	4,166,183	3,895,226
販売費及び一般管理費	3,814,280	3,697,013
営業利益	351,902	198,212
営業外収益		
受取利息	2,201	796
受取配当金	2,005	2,025
負ののれん償却額	7,126	-
商品券回収損引当金戻入額	-	8,702
その他	8,978	7,506
営業外収益合計	20,310	19,030
営業外費用		
支払利息	136,493	130,153
その他	12,012	17,261
営業外費用合計	148,505	147,415
経常利益	223,707	69,828
特別利益		
関係会社株式売却益	-	10,900
特別利益合計	-	10,900
特別損失		
固定資産除却損	21,047	17,334
特別損失合計	21,047	17,334
税金等調整前四半期純利益	202,660	63,393
法人税、住民税及び事業税	6,767	4,853
法人税等調整額	△6,188	△8,738
法人税等合計	579	△3,885
少数株主損益調整前四半期純利益	202,081	67,278
四半期純利益	202,081	67,278

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	202,081	67,278
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,275	13,555
その他の包括利益合計	5,275	13,555
四半期包括利益	207,356	80,834
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	207,356	80,834
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	202,660	63,393
減価償却費	498,222	520,457
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△790	△2,420
商品券回収損引当金の増減額(△は減少)	907	△8,702
賞与引当金の増減額(△は減少)	△60	7,741
退職給付引当金の増減額(△は減少)	17,082	9,037
ポイント引当金の増減額(△は減少)	-	4,327
受取利息及び受取配当金	△4,206	△2,821
支払利息	136,493	130,153
関係会社株式売却損益(△は益)	-	△10,900
固定資産除却損	21,047	17,334
売上債権の増減額(△は増加)	△95,288	△135,879
たな卸資産の増減額(△は増加)	123,616	△38,960
仕入債務の増減額(△は減少)	234,469	389,146
その他	136,500	169,040
小計	1,270,654	1,110,948
利息及び配当金の受取額	4,206	2,818
利息の支払額	△154,335	△130,705
訴訟関連損失の支払額	-	△28,783
法人税等の支払額	△13,738	△9,194
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,106,787	945,083
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	-	△100,000
定期預金の払戻による収入	90,000	70,000
有形固定資産の取得による支出	△216,484	△121,395
無形固定資産の取得による支出	△159	△43,889
投資有価証券の取得による支出	△400	△408
関係会社株式の売却による収入	-	20,900
差入保証金の差入による支出	-	△81,938
差入保証金の回収による収入	208,000	4,426
長期前払費用の取得による支出	△186,513	△93,256
その他	54,481	100,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△51,075	△245,560
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△12,000	△12,000
長期借入れによる収入	2,093,960	-
長期借入金の返済による支出	△2,590,214	△371,270
社債の償還による支出	△95,000	-
リース債務の返済による支出	△13,157	△47,460
その他	△2	△131
財務活動によるキャッシュ・フロー	△616,413	△430,862
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	439,297	268,661
現金及び現金同等物の期首残高	1,741,987	1,376,123
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,181,285	1,644,784

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年3月1日至平成25年8月31日)

当社グループは、百貨店業単一であるため、セグメント情報の記載を省略しております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年3月1日至平成26年8月31日)

当社グループは、百貨店業単一であるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(重要な後発事象)

前第2四半期連結累計期間(自平成25年3月1日至平成25年8月31日)

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成26年3月1日至平成26年8月31日)

固定資産の譲渡

当社は平成26年9月26日開催の取締役会において、以下のとおり、固定資産の譲渡を決議し、平成26年9月30日に不動産売買契約を締結いたしました。

## 1. 譲渡の理由

当社は、保有資産の効率的運用および財務体質の強化・改善を図るための見直しをおこなっており、その一環として以下の資産を譲渡するものであります。

## 2. 譲渡資産の内容

資産の内容及び所在地	譲渡価額	帳簿価額	譲渡益	現況
町田ジョルナ店 東京都町田市原町田六丁目821番2 土地 2,689.42㎡ 建物 14,601.19㎡	6,000百万円	1,091百万円	4,895百万円 (予定)	店舗

## 3. 譲渡先の概要

## 譲渡先1.

① 名称	株式会社瀧泰
② 所在地	新潟県十日町市四日町1658番地甲丑
③ 代表者の役職・氏名	代表取締役 瀧澤 泰三
④ 主な事業の内容	繊維製品製造業、不動産賃貸業
⑤ 資本金	100百万円
⑥ 設立年月日	昭和27年6月21日
⑦ 上場会社と当該会社の関係	資本関係、人的関係、取引関係、関連当事者として特記すべき事項はございません。

## 譲渡先2.

① 名称	株式会社テーケーワイ
② 所在地	東京都中央区日本橋人形町一丁目14番8号
③ 代表者の役職・氏名	代表取締役 瀧澤 泰三
④ 主な事業の内容	絹織物の輸出入加工販売業、不動産の売買賃貸管理業
⑤ 資本金	100百万円
⑥ 設立年月日	昭和61年2月8日
⑦ 上場会社と当該会社の関係	資本関係、人的関係、取引関係、関連当事者として特記すべき事項はございません。

注：譲渡資産につきましては、譲渡先1. および2. の共有となります。

## 4. 譲渡の日程

① 取締役会決議日	平成26年9月26日
② 契約締結日	平成26年9月30日
③ 物件引渡期日	平成27年1月30日（予定）

## 5. 今後の見通し

当社は、本件の資産譲渡後も町田ジョルナ店の一部区画についてリースバック契約を締結いたします。

また、譲渡先との間で物件引渡期日までに町田ジョルナ店におけるテナント運営管理業務委託契約を結び、当社が運営および管理業務を受託する予定です。

なお、今回の当該固定資産譲渡に伴い、平成27年2月期第4四半期会計期間において4,895百万円（予定）の固定資産売却益を特別利益として計上する予定であります。

その他、開示すべき事実を決定等した場合にはただちに開示いたします。

## 4. 補足情報

## (1) 連結売上高の内訳

	前第2四半期 (自 平成25年3月1日 至 平成25年8月31日)		当第2四半期 (自 平成26年3月1日 至 平成26年8月31日)		前年増減・対比	
	売上高 (千円)	構成比 (%)	売上高 (千円)	構成比 (%)	前年増減額 (千円)	前年対比 (%)
㈱さいか屋	18,716,876	98.0	17,628,932	97.9	△1,087,943	94.2
アルファトレンド㈱	373,917	2.0	372,443	2.1	△1,474	99.6
㈱さいか屋友の会	9,092	0.0	8,758	0.0	△333	96.3
小計	19,099,886	100.0	18,010,134	100.0	△1,089,752	94.3
内部売上高の消去	△356,021	—	△357,440	—	△1,419	100.4
合計	18,743,865	—	17,652,693	—	△1,091,171	94.2

## (2) 店別売上高(単体)

	前第2四半期 (自 平成25年3月1日 至 平成25年8月31日)		当第2四半期 (自 平成26年3月1日 至 平成26年8月31日)		前年増減・対比	
	売上高 (千円)	構成比 (%)	売上高 (千円)	構成比 (%)	前年増減額 (千円)	前年対比 (%)
川崎店	5,305,458	29.2	5,084,724	29.8	△220,733	95.8
横須賀店	4,940,227	27.2	4,712,431	27.6	△227,795	95.4
藤沢店	7,378,776	40.6	6,848,195	40.1	△530,581	92.8
町田ジョルナ	553,165	3.0	420,078	2.5	△133,087	75.9
小計	18,177,628	100.0	17,065,430	100.0	△1,112,197	93.9
テナント及び手数料収入	539,248	—	563,502	—	24,253	104.5
合計	18,716,876	—	17,628,932	—	△1,087,943	94.2

## (3) 商品別売上高(単体)

	前第2四半期 (自 平成25年3月1日 至 平成25年8月31日)		当第2四半期 (自 平成26年3月1日 至 平成26年8月31日)		前年対比・増減	
	売上高 (千円)	構成比 (%)	売上高 (千円)	構成比 (%)	前年増減額 (千円)	前年対比 (%)
衣料品	5,602,617	30.8	4,668,535	27.4	△934,081	83.3
身回品	1,365,458	7.5	1,713,347	10.1	347,888	125.5
雑貨	2,608,518	14.4	2,736,894	16.0	128,375	104.9
家庭用品	628,741	3.5	569,373	3.3	△59,368	90.6
食料品	6,414,416	35.2	5,964,103	34.9	△450,312	93.0
食堂・喫茶	602,050	3.3	629,135	3.7	27,084	104.5
その他	955,825	5.3	784,040	4.6	△171,784	82.0
合計	18,177,628	100.0	17,065,430	100.0	△1,112,197	93.9

外商扱高	3,582,901	19.7	5,004,114	29.3
------	-----------	------	-----------	------

※本年度より外商扱高の範囲を拡大しております。